

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第46号

《新年に想う》大松理事長

活路開拓事業が本格的活動に入る

岐阜県が省エネ融資制度を実施

研技旅行で福井県業界と懇談

新払能士誕生・工組で合格証の授与式

全国業界のニュース

デザインのすすめ

組合員の工場訪問（斎藤プラスチック工業所）

事務局だより

新年ごあいさつ（工組役員一同）

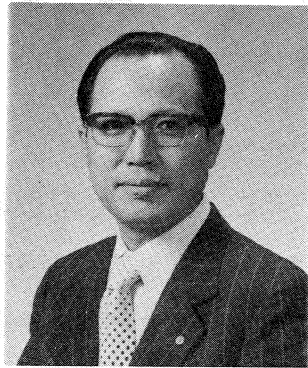
研技旅行で福井の業界を訪ねた当工組の一行



《新年に想う》

課題はまず業界の協調

岐阜県プラスチック
工業組合 理事長 大松幸栄



大松理事長

一般経済が安定成長期に突入したということは、80年代に入る前から聞かされていましたが、プラスチック業界はなかなかこれを素直に聞き入れることができなかつたと思います。昨年一年をふりかえると、これが安定成長であるという実感が湧いて来るように思います。

石油は今までの高度成長時代に対応する急激な値上げで、経済循環のバランスが破れ、値上げの上昇線がカーブした年であります。経済が高度成長を遂げておれば、決してこのような現象は起こらないと思います。このことが石油を多く使う国をはじめ消費国の経済に大きな変化を求めたのであります。

余りにも高価なものは消費を節約する、また、何か代替品のものを探す。この現象が現われたのが昨年であり、こんごもこの現象が続くものと考えられます。

わが国のプラスチック原料も、この現実を正視して対策を考えなければ、基本的に間違いを起こします。即ち、一時的な対応や食糧のような農業政策では、とても将来に向って自立することは困難だと思えます。当面は政策的運営を願うことは当然ではありますが、臨時措置であって、これが正解にはなりません。

われわれ加工業界は、このような不安定

な川上のも
とで、今年
をどのよう
にすすすの
か。このま
ま放置すれ
ば、業界が

大麻のごとく
大松理事長
く乱れ、はびこることは明白であります。

今年の加工業界の課題はまず第一に業界の協調であります。低成長ということは、パイが一定以上に大きくならないことです。同じマスの中で分取り競争をすれば、業界全体は悪化の一途をたどることは確実で、業界はこの道を選んでではありません。

第二は原料業界との相互協力です。川上である原料業界が価格安定を図るため相互信頼の体制を取ることです。加工業界が単独で生きる時代はなくなりました。もし原料業界が混乱すれば、必ず加工業界も混乱してしまいます。第三は自助努力の企業経営で、加工技術の競争、商品開発力の競争は企業発展のための活力であります。

迎えた新年の加工業界の課題は、大きく分けて以上の3つの課題を抱えています。これらを解決しながら進むことによって業界の安定化が図られるものと信じ、新年のご挨拶とします。

地域別に集団懇談会開く

『活路開拓事業』本格的な活動に入る

業界のあり方や将来方策話合う

工業組合が56年度の主事業の一つとして取組んできた『活路開拓調査指導事業』は、6月に準備会、そして7月と9月には5人の専門家を招いての専門委員会を開く一方、業界側の協力委員、推進委員により実態調査や現地調査が進むなど本格的な作業が開始されている。とくに中津川、大垣、各務原、岐阜北、岐阜南の各ブロックでは懇談会も開かれるなど会員、非会員を問わずプラスチック業界の将来について熱のこもった議論が展開されている。

各会場とも多数の 員外者が参加討論

活路開拓事業が盛り上がりを見せてきたのは、県内を10のブロックに分けて開催計画した地域集団懇談会が実施されるようになってから。そのトップは9月24日、中津川商工会議所で中津川地方プラスチック加工業者25人に集ってもらい開催した講習会。次いで各務原ブ

ロック11月14日、大垣ブロック11月27日、さらに12月5日には岐阜北ブロックと岐阜南ブロックが合同で開いた。

テーマは『プラスチック加工業はこれからどうしたらよいかー下請加工業の発展の可能性をさぐる』で、参加者は各会場とも20人から30人。とくに各会場とも2～3割の員外者の参加(中津川は全員員外者)があった。

講習内容は事務局側から活路開拓事業の概況説明のあと専門家委員の一人である関谷裕彦県工業技術センター高分子科長が、実態調査の中



岐阜北と岐阜南ブロックが合同で開いた地域懇談会

間的な分析結果や県内業界の課題について報告した。各会場ともこのあと参加者全員による懇談に入り①工業組合の事業など組合活動のあり方と組織拡大について②県内業界の将来方向とその対応策③東京、名古屋、大阪など関係業界の支援、協力と地元の金型加工業界との連携④受注、販路などの開拓と第7回産業展の開催準備ーなどについて率直な意見交換を行った。

活路開拓はこんご専門家委員によるビジョン作成する一方で美山、関、美濃・武芸、奥美濃、美並など残る地域で懇談会を開催する。

岐阜県が省エネ融資制度を実施 組合で手続事務を代行

中小企業者が成形機を購入する場合、従来は税の優遇だけであったが、岐阜県では6.7%の低利の特別融資も行っている。融資を受けるにあたって省エネ型であるという機種の認定が必要で、組合では事務を代行することになった。次は省エネルギー資金融資制度の主な内容。

▽融資対象＝1年以上県内で営む中小企業で省エネ効果が10%以上の機種。機種名の一覧表は組合にあり▽限度額＝2,000万円▽利率＝年6.7%、保証が必要な場合は利率6.5%、保証料1.0%の計7.5%▽期間＝7年以内。

福井市へ研修旅行 工組の幹部とも懇談

当工業組合が恒例行事としている研修親睦旅行はさる11月24、25の2日間、隣県福井のプラスチック業界を訪ねた。参加者は大松理事長ら30人で、一行はバスで福井市内にある成形工場や繊維工業試験場を見学、また、福井県プラスチック工組の幹部と懇談、翌日は秋色深まる北陸路の観光を楽しんだ。

成形工場の見学はフクビ化学工業（資本金7億8千万円、八木熊吉社長）とエフ・アール・ピー工業（資本金8千万円、脇坂大三社長）の

2社。フクビ化学は全国的に有名な押出成形メーカーでプラスチック建材を主力に最近は家具木工や家庭用品を生産している。エフ・アール・ピー工業は文字どおりFRP製品とガラス繊維織物を生産、2社とも岐阜県業界にはない業種だけに関心と呼んだ。また、繊維工業試験場は明治35年4月に創立された由緒ある県立試験場で、5年前に新築整備された。

とくに初日の昼食をかねて開いた福井県プラスチック工組との懇談会には、芦野副理事長と渡辺事務局長が出席され、岐阜と福井の両プラスチック業界が工組活動を通じて手を取り合い、交流を深めていくことを申し合わせた。

なお、24日には山中温泉に宿泊、同夜は産

業展準備状況、活路開拓事業の経過、組織拡大についてのブロック会議進行状況などをテーマに役員会を開いたあと、参加者全員で懇親会を開催した。



フクビ化学の商品展示場を見学する岐阜プラスチック工組一行

新技能士12人誕生 工組事務局で授与式

56年度のプラスチック射出成形技能検定合格者がこのほど決定、12月15日、組合事務局で大松理事長から検定合格証書と技能士章、技能士バッジなどが手渡された。

ことしの検定合格者は一級1人、二級11人で、受験者に対する合格率は48%となり、昨年度の合格率33%に比べるとかなりの好成績であった。授与式では大松理事長が1人1人に合格証書などを手渡したあと『プラスチック射出成形の技能者は全国的にもまだ少なく誇りを持ってさらに励んでもらいたい。とくに一級合格者はより一層技術を磨き、二級合格者はさらに一級の検定に挑戦、業界の発展に役立ててもらいたい』と語った。

これで岐阜県下の技能士は一級が4人、二級は52人にのぼった。なお、新技能士の皆さんは次のとおり。(敬称略)

<一級>

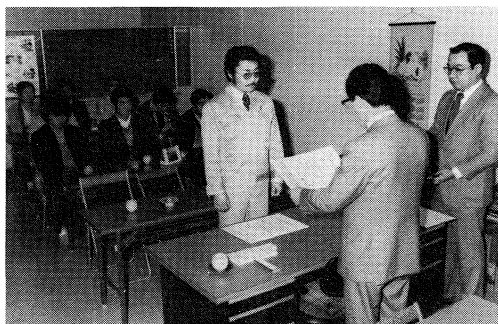
河本進一(名古屋三光合成樹脂工業)

<二級>

柳田敬夫(武藤合成)

小島廣一(岐阜プラスチック工業)

三輪末政(岐阜プラスチック工業)



大松理事長から合格証書を受ける新技能士



新技能士となった全員がそろって記念撮影

川越健次(岐阜プラスチック工業)

山内利行(岐阜プラスチック工業)

田中康久(岐阜プラスチック工業)

森昭範(岐阜プラスチック工業)

遠藤益夫(岐阜プラスチック工業)

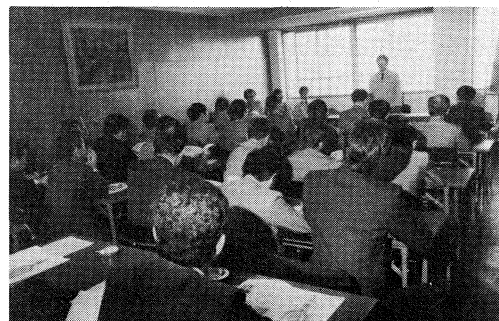
日比野正弘(武藤合成)

村井幹夫(交告化成工業)

松永正志(岐阜プラスチック工業)

技術研究会が西濃二工場視察

岐阜県プラスチック技術研究会は、10月14日、研修事業として大垣市の日本耐酸壘工業と揖斐郡池田町にある日東あられ池田工場を視察した。とくに日本耐酸壘工業では、製びん工程を電算化した集中管理体制を見学、参加者の共感呼んだ。(写真は説明を聞く一行)



全国業界ニュース

◎増産に転じた射出成形機業界◎

プラスチック機械工業会がまとめた56年9月の射出成形機の受注、生産、出荷はいずれも900台ラインを突破し、56年の年間最高を記録した。射出成形機の受注は55年10月、11月には月間600台を割る不振ぶり、在庫も900台を越えていた。そのご順次、受注が回復、56年8月には860台、さらに9月には900台ラインへ乗せ、射出成形機メーカーは各社とも久々に増産に転じたもの。

◎金属メッキナイロンを商品化◎

宇部興産はかねてナイロンの金属メッキ加工技術の研究を行ってきたがこのほど商品化に成工、自動車のホイールキャップ、電灯器具に実用化している。

プラスチックに金属メッキを施すメリットは①金属的な色調がえられる②機械的強度が向上する③耐熱性が向上する④耐薬品性、耐水性が改善される一などがあげられる。その代表的なプラスチックにABS樹脂があるが、機械的特性や耐熱性に不満が持たれていた。そこでエンプラの金属メッキ技術の確立が待望されていたもので、金属メッキナイロンの商品化は金属の代替として新用途が大きく開けてこよう。

◎1人当りの消費量が国6位◎

このほどイギリスで各国プラスチック工業の情報交換する国際プラスチック団体理事者会議で、主要生産国18カ国の1人当りの消費量がまとまった。

それによると1位はフィンランドの125.6キログラム、2位西ドイツ98.6キログラム、3位オーストリア71.4キログラム、4位スイス69.6キログラム、5位アメリカ62.7キ

ログラム、そして日本は57.2キログラムで第6位。わが国の国民一人当りのプラスチック消費量は、ヨーロッパ各国に比べるとまだまだといえる。次は各国の消費量一覧表。

国名	国内消費量		1人当り消費量※(kg/Y)	
	1979	1980	1979	1980
オーストラリア	733	807	49.9	54.9
オーストリア	496	536	66.1	71.4
ベルギー	521	489	53.2	49.9
カナダ	1,445	—	61.0	—
チリ	71	84	6.4	7.6
コロンビア	159	—	6.1	—
デンマーク	337	292	66.0	56.0
西ドイツ	6,425	6,073	104.3	98.6
フィンランド	565	601	118.5	125.6
フランス	2,893	2,809	54.1	52.5
アイルランド	132	—	39.2	—
イタリア	2,880	—	50.6	—
日本	7,255	6,700	62.5	57.2
メキシコ	740	—	10.7	—
オランダ	500	—	35.5	—
ノルウェイ	177	182	49.0	44.4
南アフリカ	396	—	14.9	—
スペイン	1,236	1,158	32.9	30.9
スウェーデン	820	—	100.0	—
スイス	430	444	67.6	69.6
イギリス	2,346	1,949	42.0	34.9
アメリカ	17,091	14,263	77.5	62.7

◎FRP材料のJIS規格準備◎

強化プラスチック協会は、工業材料として強化プラスチック(FRP)の信頼性を向上させる目的で、FRP材料の一般規格とデザインマニュアルのJIS規格化準備をすすめている。今年度内にはJIS規格化のための業界原案づくりを終わり工業技術院へ申請する方針である。このため早ければ57年度にもFRP材料の一般規格JIS規格化の審議が行われる見通しである。

また、これと並行して同協会はハイブリッドFRPの材料規格とデザインマニュアルの標準化もすすめていく。協会としては自主規格として制定することにし、調査研究作業に入る。

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

デザイン評価②

前号の冷蔵庫に関する製品評価図でも明らかのように、消費者、企業、デザイナー間には大きな相違がある。

これは、冷蔵庫だけに見られるものではなく資料（昭和55年度消費者のためのデザイン評価基準調査報告）によれば、電子オープン、ホットプレートなどにもはっきりとその相違が見られる。消費者は実利性を高く評価し、メーカーは審美性を高く評価しているのだ。

それでは、なぜ消費者とメーカーとの間に、このような評価の差が生じているのか。「作る」「使う」という立場の差としてしまえばそれまでだが、問題はその間に生じるコミュニケーションの円滑度にあるのではないだろうか。

とすれば、消費者とメーカーの中間に位置すべきデザイナーの立場からすれば、このギャップをどのように解消していくかが、最大の課題で、デザインの真の評価につながるはずである。

「これからはデザインの時代だ」と言われる。

言葉の中にも、これまでのように単にスタイルや色によって消費者の好みに合わせるような、狭い意味のデザインではなく、新しいマーケティングをもデザイン業務の1つとして、両者のコミュニケーションを円滑にしていかなければならないことを含み、もう一度考えを新たにせざるを得ない。

この資料を見るかぎり、消費者は私達が考えているより「ほんとうのデザイン」への理解があり「価格」「普及度（経験度）」を大きな評価ポイントとして、常に客観的に（クールに）モノを選びたいと考えているようである。

たとえば、電子レンジの場合、消費者各人にとっての利用価値（便利さの判断）が第1の判断基準となり、特に機能が複合化されたオープンレンジは不要であるとしている。

又、製品の普及期、成熟期にあるものは、価格が最大の評価基準となり、高価な冷蔵庫のような商品の場合は、主婦だけで判断せず、様々な情報を集め機種間の相違点を比較しつつ、付加機能、操作性、ランニングコストを含めた経済的効率等を、細かくチェックしている。

◆実利性—— 購入価格、性能、使いやすい工夫によって構成される、一種の投資効果判断。
（岐阜県工業技術センター 工業デザイン室）

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

新年はコストダウンと取組む

齋藤プラスチック工業所



新年を迎えて最初の組合員訪問は、関市の東部肥田瀬に工場をもつ齋藤プラスチック工業所（資本金500万円、従業員17人、齋藤栄市代表取締役）を訪ねた。工場は

齋藤栄市さん 関連合刃物協組の工場アパートの一角を占める。この工場アパートは中小企業の高度化事業として国、県の助成や融資を受けて昭和42年に完成したもの。

齋藤プラスチック工業所は、それまで関市内大門町で刃物の柄を専門に成形していたことから、刃物関連企業として入居した。15年を経た現在、工場内（560平方メートルと他に倉庫230平方メートル）には9台の射出成形機（最大265トンから最小70トン）がずらり並び、また、工場の一部には金型工場もあり、必要な金型や補修は全部自前でやっている。

圧縮成形から射出成形へ代る

創業は昭和32年。父親である会長の柳三郎さんが個人企業としてスタート。柳三郎さんの親元（亡くなられた東和化成の納土一三さんは兄）がプラスチックの成形加工をしていたことにヒントを得て、刃物の柄をプラスチック化した。当初は圧縮成形機で、樹脂は熱硬化性のユリア樹脂やメラミン樹脂であった。この圧縮成形機はいまではすっかり射出成形機に代わってしまった。齋藤栄市さんは倉庫の片隅にある当

時の圧縮成形機を前に『中卒後、大阪へ修業に出されたが、家へ帰ってくると、このプレスを手伝わされた』と回想する。

企業診断が経営改善に役立つ

工場アパートに入ってから企業は順調に伸び44年には金型製造設備を持ち、54年には株式会社とした。齋藤さんはこのとき家業を継ぎ代表取締役となった。

現在、刃物の柄は地元の刃物業者の40社から一手に受注し、フル操業しているが、社内で消化できない分は専属工場（3軒、6台）と外注工場（3軒、7台）でこなしている。ともあ



れ刃物産業と共に苦労を重ね、今日の成長を遂げてきたわけで、とくに高度化融資や設備近代化融資を受けた際の企業診断が経営に大きく役立ったという。

昨年、1 昨年刃物産業界は輸出を中心にかけてない好況にわいたが、いまは下り坂。このため新年はあまり期待できないので『いままで取り組んできた高品質化と納期を守ることは当然であるが、今年はコストダウンと取り組みたい』と、齋藤さんは景気の後退を予測して新しい目標をかかげる。（写真は成形工場）

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

あけましておめでとうございます。

今年も組合員の皆さんから一層親しんでいた
だけのように、事務局員一同がんばります。

□ 研修親睦旅行次回にも参加下さい □

毎年恒例になっています研修親睦旅行は、5
ページの記事にありますように福井県を訪ねま
した。とくに宿泊地は山中温泉のホテル山の湯
で参加者一同は楽しく懇親、翌日は東尋坊や九
谷焼・輪島塗りセンターを訪ねるなど、北陸路
の観光を心ゆくまで味わってきました。次回の
企画にはぜひ皆さんのご参加をお願いします。

□ 労働保険の事務組合に参加下さい □

当工業組合は労働保険事務組合として、組合
員企業から労働保険（雇用保険、労働保険）の
事務委託をしています。このほどその職安の事
務処理がコンピュータにより即時処理されるこ
とになりました。これを機会に組合員企業の労
働保険事務を工組事務局がかねている労働保険
事務組合に委かせて下さることをおすすめしま
す。

事務委託していただいた事業主の利点は①事
業主自身の事務処理が軽減される②事業主およ

び家族従業者も労災保険に特別加入できる③保
険料を年間3回にわけて納付できる—などです。
なお、岐阜県下には当組合など200の事務組
合があり、約2万事業所が事務委託しています。

□ 暖房機の共同購入は大好評でした □

このほど実施した『業務用スポット暖房機』
の共同購入は大好評で、予定した台数を全部売
り尽しました。むしろ一部の方々には注文をい
ただきましたが品物が間に合わず、ご迷惑をか
けました。次回も種々共同購入事業を計画して
おりますのでよろしくお願いします。今夏は松
下電工製の業務用機器の『スポットクーラー』
や『作業扇』を計画しております。

□ 神戸市で1月に日用品フェア開く □

日本プラスチック日用品工業組合主催の『82
全日本プラスチック日用品フェア』は、1月22
日、23日の2日間、神戸市内のポートアイラ
ンドで開かれます。

岐阜県のプラスチック
1982 46号

昭和57年1月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルブ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

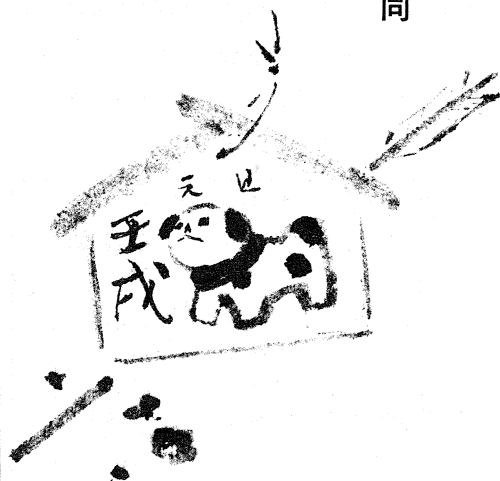
東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

謹賀新年

今年もよろしく
お願い申し上げます

昭和57年 元旦

岐阜県プラスチック
工業組合役員一同



岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中字州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0583> 82-4361 (代)

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL <0582> 45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL <03> 551-6300〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8348
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL<058427>4141番(代表)

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 米谷元則

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325番(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表3388番

関化成工業有限公司

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

厚見プラスチック 工業有限公司

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地
TEL<0582>45-1245



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲 5 の 7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071



東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座 4 丁目 2 - 11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅 4 丁目 7 番 23 号
化工機課 TEL <052> 561-8341



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン[®]

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート[®]

ポリプロピレン

住友ノーブレン[®]

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット[®]

メタアクリルシート

スミペックス[®]

メタアクリル樹脂

スミペックス-B[®]

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン[®]

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

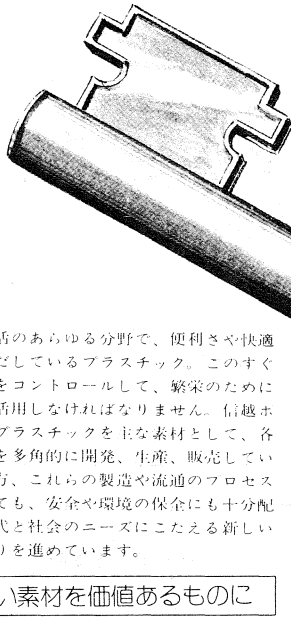
ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)



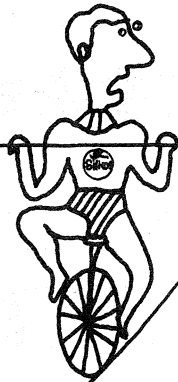
ニーズに適確に
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性です。型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店
名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

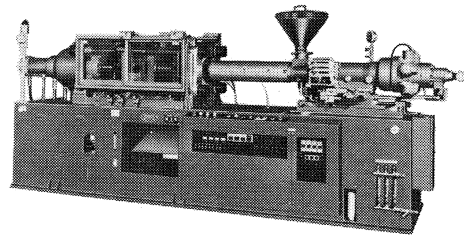


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野県坂城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所 東京 ☎ 03-357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所 全国27ヶ所 都外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(茜ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

ペラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

ペラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮